

自己の個性、能力、生活体験などを生かして実践活動する態度を身につける。

### (2) 学習計画(別表)

- ・ 実践活動
- ・ 老人の健康検診補助 四月～三月
- ・ 本の読み聞かせ

- ・ 対象 幼児、小学生一年～四年
- ・ 五月～一月

- ・ 救護院訪問
- ・ 救護院生の誕生演芸訪問年三回
- ・ 花壇の手入れ
- ・ サルビア・マリーゴールドなど

### 六 学級運営の反省

- (1) 成果のあがつている点
- ① ボランティア活動に対する理解の深まりが見られた。特に従来の奉仕活動は

- ② 何らかの形で奉仕活動をしていて問題をもつて学習に参加した人がかなりあり、実践活動への効果があがっている。

- ③ 特殊な人が特殊な技術をもつてする活動でないことの理解ができ、自分の可能な範囲で参加が気軽にできるようになつた。

- ④ ボランティア活動の大切さを知るとともに地域状況への理解が深まり進んで参加しようとする態度が見えてきた。

- ⑤ 長年ボランティア学級で学習した人が学級での学習から離れ自主的なボランティア実践グループをつくり活動はじめた。

- (2) 問題となる点

- ① 学習内容の計画の充実を図ること。
- ② 特技個性を生かした実践活動グループの編成などを考えてはどうか。
- ③ 地域ぐるみのボランティア活動推進のため、どのような手立てをすればよいか。

### 七 おわりに

ボランティア活動はいくら善意があつても奉仕活動はできない。善意にプラス技術と研修があつてこそ眞の奉仕貢献の仕事ができるといわれる。自発的に労力と才能を提供するよう努力を続けたいと思う。

(社会教育指導員 古河タツ)



手植えのサルビアの前で

## 昭和55年度学習計画

S56	3月10日(火)	12月9日(火)	11月11日(火)	10月14日(火)	9月9日(火)	7月8日(火)
閉講式 通り	ボランティア活動と人間関係 年間学習の反省 次年度の見通し	今後の課題 ボランティア活動の外の情勢と 外の情勢と	当市におけるボランティア活動の現状	事故と病気の救急措置	国際ア活動の実験とボランティア活動の実	身障者施設並びに老人ホームの実験とボランティア活動の実
閉講式	ボランティア活動と人間関係 年間学習の反省 次年度の見通し	る	市内ボランティアサマークル活動の現状 乳幼児の事故とその対策	乳幼児のかかり易い病気 乳幼児の事故とその対策	太陽の国の施設見学 身体障害者養護施設 特別養護老人ホーム	先進地視察(白河市) 活動の実際と問題点 訪問「松風園」 ・老人ホーム 護学校
	(反省) 話し合い		ボランティア活動の現状 望ましい方向を考え	活動についての紹介	見学 話題	市福祉関係施設の見学 ・喜多方市養護学校 川崎保男
	市社教指導員 古河タツ	市館長 岩本武雄	学識経験者 代表者	各サークルの金子徳太郎 福島支部 日本赤十字社	白河市中央公民館 鈴木美男 劇団員 太陽の国館長	松風園々長 清水光好 川崎保男

—国際障害者年テーマ—

完全参加と平等